

指導内容 【年間授業計画】	科目管理会計の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	○事象 集合 集合に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用することができるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	4
5月	○場合の数と確率 ・集合の変換の概数 ・場合の数 場合の数を求めるときの基本的な考え方について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	4
	○場合の数と確率 ・順列 ・組合せ 場合の数を求めるときの順列・組合せの考え方について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	12
6月			
7月	○確率 ・事象と確率 確率について理解をし、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	6
9月	○確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行の確率 ・条件付き確率 いろいろな確率について理解をし、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	14
10月			
11月	○平面図形 ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 平面図形の性質について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	6
12月			
1月	○平面図形 ・チェバの定理・メネラウスの定理 チェバ・メネラウスの定理を理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	3
2月	○平面図形 ・円に内接する四角形 ・円と直線 平面図形の性質について理解し、それを事象の考察に活用できるようになる。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	4
	○約数と倍数 ・約数と倍数 整数の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	問題演習時の机間巡视 提出物 定期考査	6
3月			